

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	②	職員の配置数は適切であるか。	○		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		仕切れる空間や、クールダウンのスペースが設けている(多目的なスペース。)
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日のおもちゃ、クラス内の器具什器の消毒。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	PDCAサイクルの周知が職員間でまだできていない。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年保護者向けの園評価を実施。
	⑦	事業者向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		今年度は、外部への研修参加が難しい状況であった為、園内研修の充実に努めた。
適切な援助の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメントは年2回行っている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		園児の支援目標をクラス内の必要箇所に掲示し、職員間での共通理解を図っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		週末に各クラスの活動リーダーが集まり、翌週の活動計画を立て、活動の共有と重複を避ける会議を設けている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		専門誌の購読、ネットでの情報を収集。

適切な援助の提供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日、終業前の時間に全職員での振り返りの会議を設けている
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングは年2回、個別支援計画に基づいて行なっている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		コロナ禍において対面でのサービス担当者会議がなかなか行われていないのが現実
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		児童相談所や家庭児童相談室などとの連携を密に行っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		肢体不自由児についての受け入れには課題はあるが、前向きに検討している。(マザースホームからの相談支援の依頼あり。)
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		肢体不自由児についての受け入れには課題はあるが、前向きに検討している。(マザースホームからの相談支援の依頼あり。)
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		地域の私立幼稚園教諭の実習を行っています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		「引継ぎのための連絡票」の記載、また必要に応じて直接の引継ぎや電話連絡等を行なっている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		待機児童についての情報共有や、相談支援事業を通じた連携を実施しています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		新型コロナウイルス感染症予防対策の為、市内保育所との交流保育が中止となり、交流の機会がなくなってしまった。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		定期的な面談のほかに、毎日の連絡帳への記載、適宜電話連絡など共通理解を深めるための機会を設けている。	
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者向けの研修として、卒園児保護者の就学を決めるまでの体験や今の学校の状況を記載させて頂き、それを冊子としてまとめてお渡ししている。	
㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			

適切な援助の提供	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		定期的な面談のほかに希望者面談を行なったり、気になる保護者等には職員からお声を掛けて面談を設定している。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○	保護者会の開催。卒園児母親・父親を招いての「先輩ママの会」「先輩パパの会」の開催。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	○		保護者からの相談にも面談や電話連絡などで対応できるようにしている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		事前に確認。その都度確認。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		日本語による会話や書面でのやり取りが難しい保護者への個別支援計画やプリントの内容の伝え方、その他配慮が必要な保護者等への個別対応が増えているので、それぞれに必要な合わせて行なっている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	△		コロナ禍でありできませんでした。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		今年度は新型コロナウイルス感染者が出たことで、BCPの内容確認と変更を行なう。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		「生活管理指導表」を基に面談を行ない、除去依頼書などを作成。給食委託業者とも連携し対応している。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		職員周知と契約に際しての説明会での周知。	